

事務事業名		神坂地内排水路整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業				
政策体系	政策名	潤いに満ちた快適な都市環境の創造		事業期間		予算科目				
	施策名	良好な生活空間の創造				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	生活道路の整備				01	08	02	03	66
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～) 年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分				
所属	部課名	都市整備部建設課				A 政策事業	B 施設整備			
	課長名	新沼克彦				C 施設管理	D 補助金等			
	係名	土木係	電話			0192-27-3111	E 一般(A~D以外)			
	担当者	高橋史子	内線	319						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
防災集団移転促進事業(神坂地区)の実施にあたり、団地に接続する市道熊野神社線には側溝がなく、排水の流末処理ができない状況にあることから、宅地造成部に接する排水路を新設することにより、移転地区の居住性・利便性の向上を図り、被災者の生活再建や安全で快適な生活環境を整備するものである。 【計画期間】 ・測量調査設計(一式) 平成26年度 (平成27年度へ繰越) ・測量調査設計(一式)、用地買収 平成27年度 ・工事施工(L=450m) 平成27年度 (平成28年度へ繰越) 本事業の完了は、平成28年度の予定である。 事業費は、委託料、土地購入費、工事費、事務費として支出される。				総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金				
					財源内訳	都道府県支出金				
						地方債				
						その他	49,193			
						一般財源	14,985			
						事業費計(A)	64,178			
				人件費	正規職員従事人数	3				
					延べ業務時間	720				
					人件費計(B)	2,880				
					トータルコスト(A)+(B)	67,058				

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
工事施工(L=450m)・・・平成27年度より繰越		ア	用地買収面積
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	施工延長
		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市道熊野神社線、市道神坂6号線、防災集団移転団地(神坂地区)		名称	
排水路周辺地域住民		単位	
		カ	計画総延長
		キ	主たる利用者数
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
排水路および市道側溝が新設・改良される。		名称	
安全で快適な生活環境を得る。		単位	
		サ	十分な断面(容量)で整備された排水路延長
		シ	整備率(計画区間整備済延長/計画総延長)
		ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
安全で快適に生活できる。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円	34,880	14,313				
		一般財源	千円	9,758	5,227				
		事業費計(A)	千円	44,638	19,540	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	3	2				
		延べ業務時間	時間	480	80				
		人件費計(B)	千円	1,920	320	0	0	0	0
		トータルコスト(A)+(B)	千円	46,558	19,860	0	0	0	0
⑤ 活動指標		ア	m ²	216	0				
	イ	m	450	450					
	ウ								
⑥ 対象指標	カ	m	450	450					
	キ	人	79	79					
	ク								
⑦ 成果指標	サ	m	0	450					
	シ	%	0	100					
	ス								

事務事業ID	1651	事務事業名	神坂地内排水路整備事業
--------	------	-------	-------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
防災集団移転促進事業(神坂地区)の実施にあたり、団地に接続する市道熊野神社線には側溝がなく、排水の流末処理ができない状況にあることから、宅地造成部に接する排水路を新設するため。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
排水路が無いため、降雨時の土砂流出が発生するため、かねてより地域要望があったことから当初より協力的である。
流末は細浦漁港復旧計画とのすり合わせが必要である。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
早期完成を要望されている。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 改良(一部新設)整備により、安全・快適に利用できるため、都市環境の向上につながる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 公共施設の道路整備は、行政が行うことが妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 この市道は、未改良であり、この事業により利用者が安全に利用できるようになるため、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 十分な幅員で舗装された道路計画延長となっていることから、これ以上の成果向上余地が認められない(年度ごとの実績はあるが、全区間の整備を行わなければ、この事業の目的が達成されない)。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 安全で快適に利用できない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限の費用で実施していることから、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最小限で対応していることから、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 一般に供する道路であることから、受益者負担になじまない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性 1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	平成28年度で事業完了した。	(2) 改革・改善による期待成果 左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>	成果	コスト			削減	維持	増加	向上				維持			×	低下		×	×
成果	コスト																				
	削減	維持	増加																		
向上																					
維持			×																		
低下		×	×																		

4 課長等意見

(1) 今後の方向性 1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容 平成28年度で事業完了した。
---	---------------------------------------